

松 風

■発行所 流通経済大学校友会 tel 0297-64-0001
 ■〒301-8555 茨城県龍ヶ崎市平畑 120
 ■発行人 佐藤 克實

平成 27年度 総括幹事会 開催

第 3 回

平成28年2月20日に新松戸キャンパス505教室にて、本年度最後となる第3回幹事会が開催された。役員および幹事事務局、45名、が参加されました。まず、佐藤会長より挨拶があり、次に各議題について審議に入りました。年度末ということで例年通り、本年度決算、次年度予算および事業計画等が主として審議されました。

50周年記念事業の全学的なイベントも前年で山を越えました。校友会は5カ年計画のソフト面での支援事業に注力することになります。会議後、新設される新松戸第2校舎の建屋が完成し、内装中であるが中に入れるとのことなので、見学会が催されました。その様子も御報告します。



佐藤会長



審議する幹事



幹事意見表明

審議事項

- 前回幹事会（平成27年度第2回）議事（録）再確認
 関連質問
 ○校友会からの大学50周年記念事業募金に対する寄付金（2000万円）は平成27年度中に納付する。
- 平成27年度事業進行状況及び予算執行状況について
 （別表参照 この時点では案）
 主に予算額大きいもの、例年と額変動しているものについて
 ○支部総会関係費用約242万円。
 支部活動活性化対策により諸費用増加してきた。案内通信発送は原則会員全員が対象となるが返信実績より、対象人数の多い支部に対しては節減策として層別して発信している。（無条件に全員に出してはしない）
 ○学生諸行事への支援は例年通り実施。但しスポーツ関係は大きな祝賀等は無かった。
 ○50周年記念事業
 留学支援 韓国1名（25万円）他実

績無し。残は大学にてプール。
 国際交流支援
 次年度にて実施（計画進展中）
 社会貢献支援
 学生よりの申請無しで実績無し。
 正課支援とからめ範囲を上げ執行する
 正課支援
 英語ボランティアサークル（浅草等で 外国人観光客への各種相談、案内）の ユニフォーム作成など。
 研究課程進学者支援
 実績無し
 エッセイ集作成
 計画どおり完了。予算多少押さえられた。残部有り（400冊）
 要望に応じ支部総会等で配布。
 他 当初計画との異動分
 帝国ホテル祝賀会校友会負担無し
 rkutoday、ホームカミングデー案内発送 関係費用（大学と分担）の発生（約300万円）

ソフト関係事業について実績にばらつきがあった。当初予定どおりの実行

にはいくつかのハードルがある。引き続き推進。

3. 平成28年度事業計画及び予算（案）について（別表 参照）

- 通常事業関係
 固定的事業は例年どおり 322万円
 卒業記念品、学生諸行事援助など
- 支部総会関係費用 411万円
 会員総数37000人のうち住所判明分は約28000人。支部総会開催案内の発送は例年実績にもとづき18000人分計上。（但し返信率は11～13%）
- 広報関係 160万円
 新たに計画一会員に広報誌（新聞タイプ）を送る。大学と折半。
- その他特記すべき事項
 茨城支部一卓球大会助成
 定例化して好評事例
 学生団体研究成果（発表）に対して表彰
 幹事会小会議（小委員会）開催費用 ー後述

○50周年記念事業計画予算

留学支援

H31年まで5ヵ年計画。適格該当者少ないが（現在）推進する。未実施残分は大学で積み立て留保

国際交流事業支援

南オレゴン大学学生来日計画進展中

社会貢献活動

社会貢献、奉仕活動を実践している学生グループを支援。地域社会との強い関係を築く。

正課支援

学部正規教育の研究発表等にインセンティブで活性化を促す
新松戸第2校舎竣工記念寄贈品
龍ヶ崎キャンパス分は完成後の

詳細が公表されていないので今期予算計上しない。
以上 了承決議された。

4 平成28年幹事会日程

5月14日 新松戸
10月29日 竜ヶ崎 つくばね
祭に合わせ現役学生との交流
2月25日 新松戸

5 小会議の開催（幹事会事前打ち合わせ）――新たに組織し実施

各種提案議題事前検討、事業計画進行状況チェック、大学事務局若手の校友会への参加方法のたたき台作成など。定期幹事会審議の効率化（審議事項について幹事ベースでの問題点の事前ピック

アップ、審議の迅速化)
主に関東在住幹事を中心として以前より一部で提案されていた、小委員会形式審議のとっかかり

6 文化面での大学、学生支援の必要性について

学究、学術面に優れた成果を出した学生を顕彰する。成果評価のはっきり見えるスポーツ関係に顕彰が偏っていないか。幹事の現役学生の文化活動への評価（例 大学祭での発表風景など）より支援があればどうか、との意見があった。表彰規定ではスポーツ、文化とも同等に扱っているが、実績の有無か評価の方法の問題か見えてこない。これを検討する。

新松戸第2校舎 見学

新校舎は現校舎より徒歩数分はなれたところにありました。住宅街を通り角を何度か曲がると、戸建て住宅が建ち並ぶ一面に大きな建物が現れました。近くに大きなマンションも有りますので建物的には特に違和感はありません。しかし、大学の校舎であると聞かされると驚かれるかもしれません。現校舎と少し離れているので、校舎間の移動を考えると、カリキュラムの設定、選択に工夫が必要かもしれません。

現校舎の近く、しかも住宅街の中、手当てされた担当者のご苦労がしのべれます。校舎は狭いとはいえ教員の個別研究室フロア（今までは無かったとのこと）やいくつかの、学生が集えるスペースなど、機能の集約度などをみると、現1号校舎と雰囲気さがらりと変わり、何か密度の濃さを感じ、より数倍充実した研究生活をおくれるのではないかと印象を持ちました。



校舎全景――工事中



教員研究室



見学の様子



体育室

平成27年度決算・28年度予算（案）

項目 (単位千円)		27年度実績		28年度予算		
		内訳	計	内訳	計	
前年度繰越			215216		197859	
収入の部	会費収入	12370		12000		
	利息収入	4876		330		
収入計			17246		12330	
支出の部	運営活動費	行事費	2268	2268		
		会議費	4327	6374		
		広報費	279	2044		
		事務費	37	150		
		雑費	27	18		
		小計		6940		10854
	援助費	大学祭援助費	730		960	
		諸行事援助費	439			
		小計		1169		960
	50周年記念事業費			26492		7500
支出計			34602		19314	
翌年度繰越			197859		190875	

留学支援費	1000
学生留学支援	
国際交流事業支援費	0
国際交流事業のバックアップ	
社会貢献活動支援費	0
社会貢献、奉仕活動の支援	
正課支援費	652
正課の活性化	
研究課程進学者支援	0
校友会員への奨学金	
記念文集作成	1103
祝賀会関係	3736
寄付金	20000

平成28年度分50周年事業費予算内訳

留学支援費	1000
学生留学支援	
国際交流事業支援費	2500
国際交流事業のバックアップ	
社会貢献活動支援費	500
社会貢献、奉仕活動の支援	
正課支援費	500
正課の活性化	
新松戸2号館への寄贈品	3000

平成28年度 第1回 幹事会 開催

平成28年5月14日に新松戸キャンパス502教室にて、午後3時より本年度最初となる第1回幹事会が開催されました。役員および幹事、事務局、オブザーバー、43名が参加されました。今回は佐藤会長が所要により欠席されましたので田中副会長が議長を務められました。議長よりご挨拶があり、次に各議題について審議に入りました。年度はじめということで例年通り、前年度決算（報告、承認）、本年度事業計画等が主として審議されました。

なお会議開始前に、工事中だった新松戸第2校舎が完成したとのことで希望者による見学会が催されました。



議長 田中副会長



審議する幹事



幹事 質疑

審議事項

1. 〇前回（平成27年度第3回）幹事会議事録確認

〇校友会から大学50周年記念事業募金に対する寄付について

平成28年3月に2000万円寄付した。

2. 平成27年度決算書及び監査報告（別表 参照）

承認された。

3. 平成27年度の校友会活動報告
27年度事業終了に伴い実施結果が説明されました

主に重点活動に係るもの

〇支部総会開催関係

案内発送 7300名@104円



756千円

支部助成（出席者数割り）413名
@2000円 826千円

〇幹事会開催 3回分

1930千円

〇学生諸行事支援

野球部祝勝会、表彰 200千円

陸上部1部昇格祝い関係150千円

新体操部発表会祝い 20千円

〇創立50周年記念事業について

正課支援

高橋ゼミ 3万円

旅行主任者資格を目指す学生とそこで活躍する先輩との意見交換等。
4回。

箕輪ゼミ 10万円

‘東日本の今を考える’つくばね祭で発表。合同合宿、報告会等。

REC Advantage activity 10万円
浅草、明治神宮などで観光客を手助けするボランティアユニフォーム作成

横井ゼミ 10万円

大学生観光町づくりコンテスト出場
‘山梨ステージ’ 出場し部門発表までいった

高橋先生主催

観光インターンシップ意見交換会
10万円

現役添乗員等2名を招いて実施

立川教授他 10万円

しゃべり場プロジェクト 10回開催。
上級生と下級生との‘しゃべり’、
新入生の生活ガイダンスも

秋山ゼミ 10万円

テーブルマナー習得、交流推進活動
ゼミ生より学内に広める活動、継続中

4. 50周年記念事業 平成28年度実施確定分

国際交流事業支援

州立南オレゴン大学との交流

6月20日～7月1日 5名来校
竜ヶ崎、新松戸キャンパスを中心として各種交流事業を実施する。

（主催 大学、校友会後援）

5. 平成28年度第3回幹事会での幹事改選

（手続き詳細については11月よりホームページで公開されます。ご確認

ください。）

それに伴い、正幹事の70歳定年制の導入の是非について提議があった。（会長、副会長は70歳定年制あり。支部長幹事は議論対象としない）

定員制（幹事総数枠の取り決め有）、若手登用の推進 などより定年制の導入は認められる。しかし、具体的な線引き、自動退任に伴う人材数を確保できるのか、などの議論が出た。

継続審議。

6. 支部総会活性化について

事前に検討報告課題として支部長に依頼されていた。

各支部長より各現場での問題点と取り組み事例、今後の方向などについて報告が有り、意見交換された。

例 女性会員の参加増施策

若い世代のネットワーク、広域地区の個別対応、懇親会のみでない会合イベント（ゴルフ、スポーツ、講演会）出席者の固定化、情報発信の充実

7. 文化面での学生の業績、成果に対する評価、顕彰の必要、充実について

（前回幹事会継続審議事項）

小委員会を組織して（6月予定）検討する

8 その他

今後の支部総会の日程

11期同期会の開催予定



新松戸第2校舎——完成後見学

前回、2月幹事会で工事中を見学した新松戸第2校舎が完成しました。工事中のシートもとれ、すっきりとしたシャープな外観が現れました。各スペース、部屋には什器、備品が据え付けられいつでも使える状態でした。これが学生たちにどのように使われ、どんな風に学生たちで賑わうのか楽しみです。



校舎全景



フロアーラウンジ



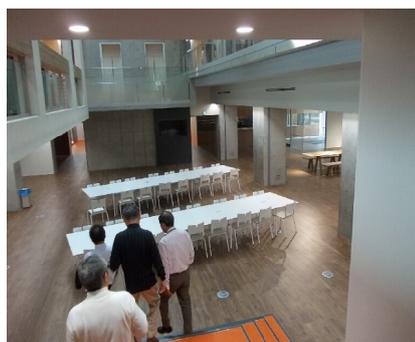
教室



フロアーラウンジ



体育室



1階 ラウンジ

校 友 の 広 場

北海道道南支部総会

12月12日 (土) 18時～
ホテル函館ロイヤル

北海道道南支部総会が開催されました

【出席者】 (敬称略)

稲田支部長(1期) 平山(3期) 林北海道支部長(7期) 川原(13期)
田中校友会副会長(4期)

※田中副会長より、帝国ホテルでの「創立50周年祝賀会」や12月5日に開催された龍ヶ崎キャンパスでの「ホームカミングデイ」の様子や、校友会活動の現状などの説明があった。懇親会に入り、流大話で盛会でありました。



群馬支部総会

12月12日 (土) 17時～
高崎ワシントンプラザホテル

群馬支部総会が開催されました

【出席者】 (敬称略)

植木支部長(1期) 金子(3期) 平山(5期)
上杉(6期) 齋藤和(7期) 佐藤(7期) 大和久(22期) 祝(25期) 塩田(26期)

齊藤事務局(7期)

【支部総会】

植木支部長

例年より多くの方の出席となった。これからも時期、場所をみなさんのご意見を聞きながら開催していきたい。

平山さんの音頭で乾杯し懇親会に入った金子さんのブルーベリー園に参加者全員で行く話や、各自の近況報告や流大時代の思い出で盛り上がり中締めとした。

観光クラブ支部総会

3月5日 (土)
新松戸キャンパス

観光クラブ支部総会&懇親会が開催されました

3月5日土曜日に、校友会の職域支部一つである「観光クラブ」の総会・懇親会が開催されました。教員OBの山崎先生や橋本先生、野尻学長、佐藤克繁先生、卒業生、現役学生 60数名参加で楽しく、充実した時間をすごしました。校友会からも佐藤会長、田中副会長が出席しました。



校 友 の 広 場

東京支部総会

3月12日 (土) 14時から
新松戸キャンパス

東京支部総会が開催されました
、新松戸キャンパスで東京支部総会が
開催されました。



眺望の良い13階の会議室で総会を行
い、15時3階「銀座スエヒロ」で懇
親会となりました。参加者各自の在学
時の思い出や近況報告で楽しい時間を
過ごしました。今回の総会で支部長が
岡本支部長(1期生)から薄田支部長
(3期生)にバトンが渡りました。

岡山支部総会

6月18日 (土)
岡山市 レストラン 西川

岡山県支部総会が開催されました
中国東支部(鳥取、島根、岡山)の岡山県支部
総会が開催されました。

岡山県では初めての分支部総会開催となります。
出席者(敬称略)

- 1期生 佐藤克實(本部)、藤谷正人(近畿)、
中尾増一郎、浮田益臣、
- 3期生 三宅浄
- 4期生 河原正典
- 6期生 今井俊夫
- 7期生 齊藤哲三郎(本部)
- 12期生 富田義裕(四国)
- 23期生 得能潤一郎、山江高德
- 28期生 家守大輔

支部総会

中尾中国東支部長から、中国地方での校友会支
部活動の歴史(かつては岡山と広島が同じブロッ
クとしていた)や現在の活動、収支についての
状況。佐藤会長から校友会として留学生支援や
英語教育に支援を行っている話。齊藤事務局よ
り母校の現在の姿について説明。

懇親会

元、同じ職場の仲間であったり、参加者の弟さ
んが後輩の知り合いでビックリしたり、岡山の
いろいろなお話と母校の思い出で盛会の懇親会
となりました。

千葉支部総会

6月11日 (土) 13:05~15:00
新松戸キャンパス
(懇親会 新松戸ステーションホテル)

校友会千葉支部総会が開催されました
校友会千葉支部の総会が開催されました。
13時、外部講師をお呼びして「相談員は見
た!!あなたをねらう悪質商法」の講演会、
14時に総会、15時近隣のホテルで懇親
会を行いました。
(議事録 ホームページに掲載)



校 友 の 広 場

韓国支部総会

6月17日（金）19：00～21：30
 濟州味港（明洞2街 50-12）

韓国支部総会が開催されました
 2016年度 韓国支部校友会 報告

参加者：12名

日本側：田中校友副会長、赤石事務局長、鹿野、鳥本社長（日本通運韓国）

韓国側：カンギホン顧問、キムボンス顧問、パクムイル副会長、ユンソンハン事務局長、イミョンウさん、キムコンウさん、イヒョン Cholさん、ユンヒョンスさん

欠席者：1名

韓国側：キムヒョンジュン会長（仕事の都合により欠席）

式順：

開会の辞：パクムイル副会長、ユンソンハン事務局長より

歓迎の辞：カンギホン顧問より

韓国支部からの意見：

- 韓国、中国、台湾、日本で合同の校友会を開催したい
- 卒業証明書等の発行について、外国からの取り寄せをスムーズにしてほしい（鹿野対応します）
- 韓国でも流通経済大学の名前が有名になるよう今後のさらなる発展を期待したい

九州北部支部総会

6月11日（土）18：30～
 ホテルクリオコート博多二階

九州北部支部総会が開催されました
 九州北部支部総会

出席者 平田久朝様、畑辺一夫、佐々木慶嗣、中村邦夫、有川俊一、佐々木茂、伊藤今朝男、校友会 田中博也副会長、折山俊樹職員

平田支部長より



234名校友がおり、53名の返信があった。佐賀、長崎をまとめて（約100名）⇒特に若い世代からの返信も何通かきているので。人数に関しては、開催月の問題なのか、場所の問題なのか多くの人数（特に若い世代）が参加できるような校友会にしていきたい。

田中副会長より

校友会の動きとして、第一期生が満70歳で定年

幹事44名は定年がない。今後の規定をどうするのか。定年を設けたほうが良いのか。

支部に任せても良いのではないかと。

日程は、どの時期が良いのか今後の課題である。

る。

懇親会

折山より、大学の現状、校友会支部総会当日に行われていた青春祭や、オリンピックに関してのこと、クラブの状況、南オレゴン大学より5名が来学し、本学学生と国際交流を図る旨報告を行った

中国東支部総会

6月26日（日）12時～
 倉吉シティホテル

中国東支部総会、倉吉市で開催されました
 出席者（敬称略）

中尾増一郎（1期）吉岡孝（2期）岩田敏男（3期）矢田英人（6期）尾崎正長（20期）齊藤哲三郎（事務局7期）

総会

中尾支部長より前週行われた岡山県支部総会が盛会であったことが報告された。今年は岡山、今回の鳥取、秋に島根と全県開催を予定している。

議事に入り、事業報告、会計報告があり、役員について話し合われた。

中尾支部長、左次副支部長、今井副支部長の体制で再任することを全会一致で承認した。

懇親会

参加者各自の近況報告、特に農作業や海釣りの話で盛り上がり楽しい懇親会となりました



校 友 の 校 広 場

沖縄支部総会

7月16日 (土) 19時～
那覇市松尾 「花兆萬亀」

沖縄支部総会が開催されました。
初めての沖縄支部総会が開催されました。

参加者 (敬称略)

小山 (13期) 新城 (14期) 翁長 (19期)
大城 (38期) 安里 (38期)
奈良林 (14期) 宮本 (14期) 篠原 (28期)
佐藤 (1期事務局) 齊藤 (7期事務局) 根本 (職員)
奈良林氏の奥様 (ゲスト)

長年、懸案でありました沖縄支部総会が開催されました。沖縄料理を頂きながら自己紹介、近況報告。流大時代のクラブ活動や寮生活の思い出話で盛り上がりました。翌日に沖縄県の父母会があり宮本部長以下職員の参加、沖縄旅行中の奈良林ご夫妻の出席などのサプライズもあり楽しい時間を共有しました。

大城さんのおっしゃっていた「いちやりばちょうでい」沖縄言葉で「皆 兄弟」を感じさせる総会でした。

今回の世話役、小山さんを沖縄支部長とすることを満場一致で決めてお開きとしました。



編 集 後 記

50周年記念事業の大きなイベントは平成27年で概ね実施されました。新年度を迎え、新しい年度事業に取り組みはじめました。

校友会は50周年事業を5カ年計画とし主にソフト面の施策を事業としました。(具体的には各回議事録をご覧ください。)各々の施策は、その本来の目的達成にはなかなか難しい課題ではあります。事業の大半は他部門の支援です。我々が直に実働するものではありません。間接的に見守り、支援することのみです。OBが現役の学生に出来ることはその様な形でしかないでしょう。

年配者は往々にして得られなかったもの、自分が成し遂げられなかったもの、こうあれば良かったというものを何かに投影しがります。それは己が人生をリセットして再チャレンジすれ

ばよいでしょう。若い人たちには古い我らを軽々と飛び越えて新境地で思考し答えを形作る力があるのです。若い人たちが考え、実行して出す新しい問題と答えに期待しましょう。古い私たちを、成る程そういう見方で、方法で、乗り越えてゆくのかと。我々の眼を見開かせ、導いてくれる事を期待しているのです。それに託しましょう。かと言って無条件にOB全員より託された資産を供する訳にはゆきません。今という現実を見、問題を把握し学生に寄り添う形で答えを出さねばならないのです。事前に答えを持ってはいない。今の若者と同じように悩みそのチャレンジする方向に賭けてみる、ということしかできないのです。50周年事業の実施とはそのようなことではなかるうか。単にある団体に資金支援をすることではない。なかなか難しい事業、

課題ではあります。逆に全校友の寄託により現役学生に対して希望を託せることに関与できることは幸せなことです。

もう1件、新松戸の第2校舎の完成。これもうれしく希望の持てるものでしょう。教育は人と人と、いいながらも、やはり寄り合う場がなければなりません。新校舎は単に2棟目というだけでなく、今まで不足していた教員の研究機能充実をもちこんだとのこと。より学生の勉学の深化と教員との交流が図られることでしょうか。個人的な趣味であるが、集約された場所にごちゃごちゃと何か詰まった感じは、人間同士の関係が沸騰しそうですきである。機会があれば学生であふれる状況を見に行きたいものです。 s 生記